



テレビの視聴率って何なの

視聴率を気にする理由

わたしたちは、テレビの視聴率ということばをよく聞きますね。視聴率とは、あるテレビ番組が、どれだけの数の人々に、見られているかという数字のことです。

民間テレビ局は、特にこの視聴率を気にします。民間テレビ局は、いろいろな会社のコマーシャルを放送して、その代金をもらっています。会社は、コマーシャルを通じて、自分の会社の商品や商品名を、知ってもらおうとしているのです。ですから、どれだけの人たちが見てくれたか、とても気になるのです。

テレビ局は、多くの人が見てくれれば、コマーシャルを出している会社が喜び、番組をつくるためのお金を、もっとたくさん出してもらえるのです。

機械を使って視聴率の調査をする

日本にあるテレビの台数は、8000万台近くあります。これを、全部調べるわけにはいきませんので、視聴率調査会社は、調査に協力してもらえる家庭を選び、機械を使って調べています。

今、何の番組を見ているか、どの番組に切りかえたか、1分きざみでわかる機械をおいてもらい、その記録を電話線を通じて集めているのです。それを集計し、視聴率として発表しているのです。

現在、視聴率を調べる会社は、日本では2社あります。ある会社の場合、調査のための機械をすえ付けさせてもらっている家庭は、全国に4400世帯ほどだそうです。

(監修・青木 国夫)

